

### 市民団体が集まって交流 11日に「狛江☆サミット」

「第4回狛江☆サミット」(狛江市市民参加と市民協働に関する審議会、狛江市主催、狛江市市民活動支援センター(こまえくぼ1234)共催)が11日(土)午後1時～3時45分に中央公民館で開かれる。

仲間や地域とつながり、狛江を暮らしやすいまちにすることを目的に、地域で活動している団体や個人が勉強・情報交換する市民フォーラムが毎年開催され、28年から「狛江☆サミット」として開催している。

当日はNPO法人CRファクトリー代表理事の呉哲煥さんが「強くあたたかい組

織・コミュニティのつくり方」をテーマに約45分間講演する。その後、参加団体や個人が活動内容等を簡単にPRしてから自由な意見交換をする。会場には市民活動支援センター登録団体などの活動を紹介するパネルを展示する。

サミットの運営を担当する座長の松崎学さんは「市内では市民活動が活発です。多くの方がサミットに参加して、いろいろな分野の市民活動を知ったり、活動している人と知り合うことで交流が深まり、暮らしやすい街になることをめざしています」と参加を呼びかけている。

問い合わせ ☎3430-1164 狛江市企画財政部政策室市民協働推進担当。

### まちぐるみで総合防災訓練 避難所ごとに独自テーマ

狛江市総合防災訓練が12月1日(日)に実施された。

震度6弱の地震が発生したという想定で、小・中学校など市内12カ所の避難所へ市民が次々と避難。各会場では避難所運営協議会による避難者の登録受け付けやAED操作体験など避



段ボールベッドの組み立て

すべての会場に流された。

今回は参加者が前年と比べて少なく、避難所運営協議会の役員や参加者から「震災想定

の訓練は必要だが、10月の運営、おやじの会などが協力しており、30回を数える。

「狛江市三中地区スポーツ大会」は11月23日(日)に和泉小学校で催された。この日はあいにくの雨で、会場が体育館に変更されたほか、PK合戦など一部のプログラムが中止された。しかし、外で遊べない子どもが多く参加、グラウンドゴルフ、ポッチャ、バドミントンを楽しんだ。また部活でヨガを採り入れている狛江第三中学校からの提案で今回初めてヨガ体験コーナーが設けられ、中高年や母子などの人気を集めていた。「こどもと大人のふれあい広場」と名付けたコーナーでは紙飛行機、竹細工などの昔遊びを子どもたちが楽しんでいた。

この大会は多摩川住宅など町会・自治会が運営しており、30回を数える。

台風19号で浸水した家もあり、多摩川が近いので水害を想定した避難訓練も必要」という声も聞かれた。

訓練に合わせて狛江市町会・自治会連合会がオリンピック・パラリンピックの機運醸成と犯罪のない美しい街づくりを目的にミニシクラメンやエリカ、アザレアなどの鉢花木2,020個を配布した。

### 「こまなび電子版」掲載情報 の変更は20日までに

狛江市は、市内の生涯学習団体の情報をまとめた生涯学習ガイドブック『こまなび』の平成31年度版を2月に発行する。

このガイドブックはインターネットで検索できる狛江市生涯学習サイト『こまなび電子版』の情報を収録するもの。同サイトの掲載情報に変更がある団体は20日(土)までに掲載情報を変更するよう、担当の政策室では呼びかけている。

情報変更の手続きの問い合わせは政策室まで。

### ドイツ人捕虜の就職テーマに ヘルマンさんの会が講演会

「ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡をたどる会(通称・ヘルマンさんの会)」(飯田吉明代表)が26日(土)午後2時～4時に泉龍寺仏教文庫で講演会「大正8年 ドイツ人捕虜の就職活動」を開催する。

ヘルマンさんは第一次世界大戦のドイツ人捕虜として日本の収容所で暮らした。その後、日本に残ってハム・ソーセージなどの食肉加工技術を伝え、昭和20年代後半から10数年間、狛江に工場を建ててハム・ソーセージを製造、泉龍寺

に墓がある。ヘルマンさんの会はその業績を調べ、後世に伝える活動を行っている。

講演会では、武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館所蔵の「俘虜就職方ノ件」と題されたガリ版刷りの文書について同館公文書専門員の高野弘之さんが文書の内容や発見されたいきさつなどについて解説する。この文書は、第一次世界大戦後、日本に残った捕虜の就職活動について大正8年に作られたもので、31人のドイツ人捕虜などの氏名・年齢・職業や特技が書かれており、極めて珍しいという。

また、狛江市市史編さん委員で武蔵野市文化財保護審議会委員の稲葉和也さんが日満州国大連のドイツとの関わりなどについて話す。

参加は自由で入場無料。問い合わせ ☎3489-0222 飯田さん。

### 糖尿病と高血圧テーマに 慈恵第三病院がセミナー

第90回東京慈恵会医科大学附属第三病院公開健康セミナーが11日(土)午後2時～3時30分に慈恵第三病院近接慈恵第三看護専門学校6階大教室で催される。

「糖尿病と高血圧」をテーマに同病院糖尿病・代謝・内分泌内科の原興一郎医師が講演する。

定員160人で参加無料。問い合わせ ☎3480-1151 慈恵医大第三病院管理課。

### 生の音楽届けて10周年 ブルームーンが演奏会

カントリー&ウエスタンバンド「ブルームーン」(松村隆代表)が結成10周年を迎え記念コンサート(かわ

### スポーツ

### 狛江市民吹奏楽団 第20回定期演奏会

狛江市民吹奏楽団(鈴木洋平代表)が19日(土)午後2時(開場1時30分)～4時にエコルマホールで第20回定期演奏会を催す。

同楽団は平成9年に都立狛江高校吹奏楽部員とそのOB数人が狛江で活動する市民吹奏楽団を作ろうと結成した。現在は高校生から70代まで幅広い年代の約50人で構成、ほとんどが吹奏楽経験者だという。毎週土曜夜に西河原公民館などで練習し、「楽しむ・楽しませる・そして充実を得る」をモットーに、年1回の定期演奏会のほか、初夏の音楽会や「音楽の街-狛江」の関連イベントに出演、幼稚園でのファミリーコンサートも行っている。

節目の20回を迎えた今回の定期演奏会では、難しいがいつか演奏したいと団員が希望していたレナード・バーンスタイン作曲「ウエストサイドストーリー」より「シンフォニック・ダンス」に挑戦、1年前から練習を重ねてきた。また、外部からハープ奏者を初めて招いて演奏する。このほか、樽谷雅徳作曲「マゼランの未知なる大陸への挑戦」、服部良一メドレー、「もののけ姫」セレクションなど9曲を披露する。指揮は花坂義孝さん、矢生徹さん。入場は無料。

問い合わせ Mpr@komasui.org 狛江市民吹奏楽団 市村さん。



演奏するブルームーン

21年に結成した。現在は中尾成克さん、児玉裕子さん、河野美沙子さん、大塚真理子さん、松尾一輝さん、神原章造さんの70代を中心とした男女7人で構成、谷戸橋地区センター(かわせみ館)で催した。

会場を埋めた約100人の聴衆を前に、カントリー&ウエスタンのスタンダードナンバーに加え、ポピュラーやJポップなど幅広い楽曲で生演奏を届けてきた。松村さんたちは「青春時代を思い出して喜んでくれる高齢者も多い。これからは20周年を目指して演奏を続けていきたい」と話している。

同バンドは、代表の松村さんが定年退職を機に、音楽で地域に貢献したいと地域に呼びかけて4人で平成



### スポーツ通して地域交流の輪

地域の人々がスポーツを通して交流する市民スポーツ大会(スポレク)が10月から11月にかけて市内3カ所で開催された。

このイベントは、市民スポーツ大会の一環として催されているもので、地域によって名称や運営方法、内容が違っている。

「一中・四中地区合同運動会」は10月27日(日)に緑野小学校で催され、幼児から高齢者までが一緒になって、午前10時から午後2時頃までパン食い競争、徒

競走、タル転がし、綱引きなど昔ながらの運動会を楽しんだ。

狛江団地自治会、小足立町会、和泉本町一丁目町会、覚東町会などの町会・自治会の住民組織が中心となって運営しており、ことしで28回を数える。地域の人同士が気軽に交流できると好評で、賞品として野菜が贈られるのも人気だ。

「二中地区スポレク大会」は11月10日(日)に狛江第三小学校で催された。

参加者たちは輪投げ、

チュークボール、キンボール、ティーボール、ティーバッティング、パンポン、マジックダーツ、グラウンドボーリングの8種のスポーツを体験してスタンプを集めた。4つの競技の上位入賞者に菓子や地元産の野菜がプレゼントされるため、子どもやお年寄りも真剣な表情でチャレンジしていた。屈伸、背筋力、握力などの体力測定も行われ、多くの人々が参加していた。

この大会は猪方、駒井町、岩戸などの町会が中心になっ